

(1)

㊦「おはよう」 ㊧「あいごとう」 ㊨「しつれいします」 ㊩「すみません」・・・ オアシス運動

八幡まち協だより

【第126号】2022年1月1日

八幡学区まちづくり協議会
近江八幡市宇津呂町73-1(八幡コミュニティセンター)

TEL 0748-32-2300 FAX 0748-32-2546

E-mail hachiman-cc@zc.ztv.ne.jp

新年あけまして おめでとうございます

まちづくり協議会活動の再スタートの年に

新年あけましておめでとうございます。

皆さま方におかれましては、お健やかに新春をお迎えになられたことと心よりお慶び申し上げます。

これほどまでに「新型コロナウイルス」が「当たり前」に過ぎてきた社会生活を脅かすとは思ってもみませんでした。これまでの「当たり前」といったものがコロナによって諸活動に変化が求められるようになってきたのではないかと考えています。

昨年は、長引くコロナ禍の中で疲弊している私たちに追い打ちをかけるように、お盆を挟んで記録的な大雨となり近江八幡市で72時間雨量が観測史上1位となり、学区内でも多くの箇所が冠水し、ニュースで幾度も放映されました。コロナに関係なく、自然災害は襲ってきます。現実から逃れることはできません。自分の身は自分で守る行動をしていかなければなりません。

まちづくり協議会においても、学区民の皆さんと顔を合わせ、今まで活動してきた各事業がコロナにより出来なかったことを残念に思っています。

ワクチン接種の浸透や、皆さんの日々の行動などにより、やっと感染状況が落ち着いて参りました。とはいえ油断せず日々の行動には気をつけねばと思っています。「住みよい・住んでいて良かったと思えるまちづくり」に向けて、自治会(連合会)と連携し、まちづくり協議会諸活動の再スタートの年にしていかなければならないと思っています。

皆さまの一層のお力添えをお願い申し上げますとともに、益々のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。



八幡学区まちづくり協議会会長
岡村 益夫

ずっと住み続けたい八幡学区を目指して

八幡学区の皆様、新年あけましておめでとうございます。

新型コロナウイルスによって社会が一変しました。こうした中で、コロナ禍の助け合いに関する意識調査ではこれからの社会に助け合いの必要性を感じている人は9割を超えています。

この助け合い「共助」を支え、核をなすのが自治会です。防災面から地域で助け合う共助に重点を置いた自主防災組織は、防災力・減災力を強化するためにも実践的な活動こそ重要であると考えられます。この共助のほか、自分の身は自分で守る「自助」、遠くの親戚よりも近所同志の助け合う「互助」、行政による救助・支援「公助」と共に地域の安全安心の原点であるとの認識をもって継続した防災意識の向上に努めて参ります。

一方、福祉面では見守り支え合い活動として、一人暮らしの高齢者の見守りや隣近所の声かけ活動によって孤立死や安否確認につなげていく仕組みづくりが十分であると言えないのが現状で、住民の福祉意識の向上を図るためにも応えていかなければなりません。

今、最も必要とされる前述の課題を学区全域で自治連合会も各自治会も、まち協と連携・協力して、ずっと住み続けたい八幡学区を目指して努力を続けて参ります。

皆様のご理解とご協力をお願い申し上げますと共に健康で幸多き年になりますことを心からお祈り申し上げます。



八幡学区自治連合会会長
青山 孝

1月 行事のお知らせ

※新型コロナウイルス感染状況により中止・変更することがあります。

6 木	9:00~ 大会議室	2月分市民アリーナ予約受付
15 土	13:00~ 大会議室	2月分体育施設開放運営委員会 八中体育館の夜間利用 *八小体育館は工事のため使用不可
19 水	9:00~ 事務室窓口	2月分コミセン貸館予約受付 コロナ感染予防のため利用制限あり
2月 1 火	9:00~ 大会議室	3月分市民アリーナ予約受付

21 金 **ワンコインカフェ ほっこり** 

八幡コミセン エントランスホールにて 淹れたてのコーヒーや紅茶を飲みながらゆったりとお過ごしください。

午前の部・10:00~12:00
午後の部・13:30~15:00
★コーヒー・紅茶 100円(お菓子付)

 新型コロナウイルス感染防止対策をしながら実施します。ご協力をお願いいたします。

7 金 **はちまん子ども食堂** 12:00~14:00

3学期の始業式の日だよ!
メニュー:煮込みハンバーグ 

★予約されたお子様のみ
(定員に達した為受付は終了しました)

お茶と100円を持ってきてね!


第3回知識講座
ロコモティブシンドローム
(運動器症候群)について 

22 土 八幡コミセン多目的室 10:00~11:30

講師:ヴォーリズ記念病院
リハビリテーション科 田中 潤氏

運動器とは骨や筋肉・関節などの身体を動かす仕組みのことで、この運動器の組織の障害によって移動機能が低下した状態がロコモティブシンドローム(略称ロコモ)です。今回は、運動器の健康を長く保ち続け、ロコモを予防し健康寿命を延ばすために必要なことを専門家を招いてお聞きします。
事前申し込み不要です。
お気軽にご参加下さい。



いきいき健康づくり教室
< 気功体操 >

26 水 八幡コミセン多目的室 10:00~

若さと健康を保ち、未病を防ぐ自己治療法セルフメディケーションとして生まれた健康体操で日本人考案の「日本の気功」です。無理をせずマイペースに行いましょう! **初心者の方も大歓迎**です。
講師:馬場康子さん
対象:概ね60才以上の方
持ち物:参加費100円、上靴、飲料水、汗拭きタオル、あればヨガマットまたはバスタオル(敷く用)、動きやすい服装
★1/6(木)9時より受付開始
窓口または電話で (32-2300)



親子フリーステーション たんぽぽ 10:00~11:30 多目的室

楽しいおもちゃと、優しいサポーターさんがお待ちしております。いつも来てくれる方もはじめての方も親子で一緒に遊びましょう!(未就園児とそのご家族が対象)

14 金 **昔あそびをしよう**
お手玉やコマなど昔のおもちゃであそんでみましょう!

28 金 **節分のついで**
鬼のお面を作って、新聞紙の豆で「おには〜そとっ!」

元気なちびっこまってるよ!


八幡コミュニティセンター 休館日カレンダー《1月》

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

住みよいまちづくり推進講座



『地区別懇談会を創ろう～人権啓発教材集「今ある部落差別」と「じんけんカフェハようこそ」を使って～』講師：滋賀県人権センター 四方康博さんのお話を聴く委員の皆さんの様子

依然として猛威を振るう新型コロナウイルスによって二度の延期を強いられた令和3年度の「住みよいまちづくり推進講座」が11月13・20・27日の土曜日の午後の3回講座として開催され、各自治会および各種団体より選ばれた人権尊重のまちづくり委員さんと男女共同参画委員さんに学んでいただきました。

今年度は、各委員さんにお配りした県の啓発冊子と八幡まち協で購入した啓発DVDの地区別懇談会での活用の方を中心に、滋賀県人権センターの四方康博さん、人権ネットワーク八幡の梶本博益さん、近江八幡市教育委員の八耳哲也さんにそれぞれのテーマでお話をいただきました。



感動をありがとう!! 八幡学区出身 乾由紀子さん 近江八幡市スポーツ優秀選手金賞受賞



東京オリンピック 2020 でアーティスティックスイミング競技に出場された乾由紀子さんが11月9日に表彰されました。八幡学区では乾選手をこれからも地域をあげて応援していきます！

八幡学区まち協人権部会 人権啓発標語・ポスター

本年度もコロナ禍の中、学区民の皆様から「差別しない・させない・人権を守り・明るく住みよいまちにする」ための気持ちのこもった力作標語99点、ポスター59点の応募がありました。

11月5日に役員による審査会が開催され標語6点・ポスター6点の入選作品が選出されました。

応募作品は11月5・6日の文化のつどい人権コーナーで展示されました。



14区自治会クリーンウォーク



「こんなところにもゴミが落ちてるね」ゴミ袋を手に歩く14区の皆さん

14区自治会では平成25年までは年1回春に、区内の美化運動の一環として、また「健康づくり」のきっかけとして「クリーンウォーク」を実施してきました。翌年からは「14区内をゴミのない町へ」のスローガンのもと、春・秋年2回の美化運動が行なわれるようになり、今年の秋のクリーンウォークが11月21日実施されました。コロナを心配してか親子での参加がいつもより少ない中で、同時に近江八幡警察署員による「交通安全教室」が行われました。その後、2班に分かれて地区内を歩きながらゴミ



令和3年度交通安全標語 決定

みんなの交通安全を願って



令和3年度の八幡学区交通安全標語コンクールを学区交通安全推進協議会で実施したところ、昨年同様、素晴らしい作品がたくさん寄せられました。応募された作品はすべて、昨年11月4・5日に開催された文化のつどいの安全安心コーナーに掲示されました。そして、子ども部・一般部・高齢者の部の3部門それぞれで最優秀作品が選考され、それらの標語は交通安全意識の高揚に資することを目的としてポスター化されました。

今年度の作品の傾向として、自転車に関する内容のものが例年よりも多く見受けられました。特に自転車は、子どもから高齢者まで多くの人たちに利用されている便利な身近な乗り物です。

しかし道路交通法では軽車両という車両の仲間位置づけられていて、法律で定められた交通ルールを守るとともに安全マナーを心がけて運転しなければなりません。その上で、便利な乗り物である自転車を上手く利用したいものです。

見逃さない
信じてあげた小さな手

歩行者の安全守ろう
自転車も

手を上げて
はっきり示そう 渡ります

八幡学区まちづくり協議会 令和3年度交通安全標語応募優秀作品 <子ども部・高齢者の部・一般の部> 企画 八幡学区交通安全推進協議会

八幡学区青少年健全育成大会～2年ぶりの開催～



近江兄弟社中学校 吹奏楽部の演奏

講師：齊藤智孝さん

八幡学区青少年健全育成大会が12月4日、ヴォーリス学園ヴォーリス平和礼拝堂で開催されました。

大会は心地よい打楽器三重奏で始まりました。近江兄弟社中学校吹奏楽部の皆さんが楽器を演奏しながら登場されると、これから始まるわくわく感と壮大な曲に魅了される雰囲気包まれました。久しぶりの観客を前

にしての演奏ながら、堂々と、そして息を合わせた演奏に日頃の練習の成果を感じました。

オープニング演奏の後、八幡学区青少年健全育成会議の角田純一郎会長の開会挨拶に続いて、小中学生の作文・絵画・ポスターの優秀作品に対する表彰が行われました。そして、表彰された3名の作文発表がありました。自分の経験したこ

とから、人とのつながりの中で生かされている自分のことや、相手の気持ちを考えて行動することの大切さを中心に、今後の決意も含めた発表がありました。わかりやすく堂々とした発表でした。

今回の講演は、助産師の齊藤智孝さんを講師に迎え、「大事ないのち、大事だからだう生きてるってすばらしい！！」と題して話をしていただきました。小学校5年生の理科の単元「生命の誕生」で子どもたちに見せる映像を見ながら、この世に生まれてきたことは「奇跡」であり、たくさんの命のリレーがつながってここに自分がいるということ、一人ひとり違って

いてかけがえのないものだと言われました。昨今、心の不調から、生きにくさを感じている大人も子どもも増えていきます。先生の「人を心から愛し、たくさんの人に支えてもらい、しぶとく生きていこう。」という言葉には、「いやなことがあってもしんどくても生きるために生まれてきたんだよ。生きていけるからいろいろできるんだよ。生きてるっていいよなあ。」という強いメッセージが込められていました。

会場全体が、生きていくことに感謝し、また子どもたちにとって安心できる社会になることを願う思いでいっぱいになりました。

おめでとうございます
八幡学区青少年健全育成会議賞
作文の部

- 八幡小学校6年 伴 奈々子
「かげで支える人々の努力」
- 近江兄弟社中学校2年 松本 一花
「My Magical Words」
- 八幡中学校 1年 橋本 洵也
『「キモさ」から学んだこと』

絵画・ポスターの部

- 八幡小学校 5年 栗林 佑陽
「子どもを守ってくれる
スクールサポーターさん」
- 近江兄弟社中学校 2年 毛利 和華
「大切にしよう 地域の繋がり」